気象庁の使命・ビジョン、基本目標

使　命

気象業務の健全な発達を図ることにより、災害の予防、交通の安全の確保、産業の興隆等公共の福祉の増進に寄与するとともに、気象業務に関する国際協力を行う。

ビジョン

安全、強靱で活力ある社会を目指し、国民とともに前進する気象業務

- 産学官や国際連携のもと、最新の科学技術を取り入れ、観測・予報の技術開発を推進する。
- 社会の様々な場面で必要不可欠な国民共有のソフトインフラとして気象情報・データが活用されることを促進する。

基本目標（戦略的方向性）

1．防災気象情報の的確な提供及び地域の気象防災への貢献

気象、地震、火山現象、水象等の観測及び監視を的確に行うとともに、関係機関と密接に連携して、観測の成果等の収集及び活用を図る。

観測の成果及び予報・警報等の防災に資する気象情報を適時、的確にわかりやすく提供するとともに、気象防災の関係者と一体となって平時・緊急時・災害後の取組を進め、取組の内容を不断に共に改善することにより、地域の気象防災に一層貢献する。

2．社会経済活動に資する気象情報・データの的確な提供及び産業の生産性向上への貢献

社会経済活動に資する気象情報・データを的確に提供するとともに、ニーズと技術の進展を踏まえた産業界における気象データの利活用を促進し、新たな気象ビジネスの創出を推進することにより、幅広い産業の生産性向上に貢献する。

3．気象業務に関する技術の研究・開発等の推進

観測・予報のための基盤の充実を計画的に進めるとともに、産学官や国際連携のもと、先進的な観測・予報技術の研究及び開発を行い気象業務に反映させることにより、最新の科学技術に立脚した気象業務を推進する。

4．気象業務に関する国際協力の推進

各国それぞれとの互恵的な国際協力・支援や国際機関を通じた活動を戦略的に進めることにより、我が国及び世界の気象業務の発展に貢献する。

基本目標（関連する施策等）

1－1　台風・豪雨等に係る防災に資する情報の的確な提供
1－2　地震・火山に係る防災に資する情報の的確な提供
1－3　気象防災の関係者と一体となった地域の気象防災の取組の推進

2－1　航空機・船舶等の交通安全に資する情報の的確な提供
2－2　地球温暖化対策に資する情報・データの的確な提供
2－3　生活や社会経済活動に資する情報・データの的確な提供
2－4　産業の生産性向上に向けた気象データ利活用の促進

3－1　気象業務に活用する先進的な研究開発の推進
3－2　観測・予報システム等の改善・高度化

4－1　気象業務に関する国際協力の推進

最終改定：平成 31 年 3 月